

# 【 学校への BLS 教育導入検討委員会 】

報告日：令和 5 年 6 月 8 日

【委員長】 立川 法正

【担当理事】 田中 秀治

【活動内容】 (令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日迄)

## 1. 委員会開催日および議事内容

(開催日) (議事内容)

- 令和 4 年 5 月 25 日 文部科学省 安全教育調査官 森本晋也氏お招きして開催
- 小学校学習指導要領への救命教育位置付けを実現するために
  - 教員養成課程での救命実習の実施に向けて
  - 養護教諭養成課程での医学教育の内容強化に向けて

## 2. 報告内容

本委員会は「学校教育に実技実施を伴う救命教育を導入・普及する事」を目標に活動している。これは、院外心停止の救命率向上のために活動している国際的なネットワークである GRA (Global Resuscitation Alliance) が提唱している 10 steps の 1 つ「学校とコミュニティにおける CPR・AED トレーニングを義務化」に当てはまり、世界の潮流に沿った活動となっている。

例年、日本 AED 財団 School 部会と連携し、本委員会は学術的な役割、School 部会は実務的な役割と役割分担することで、より効果的に学校での救命教育導入の更なる促進を目指した活動を行っている。毎年、日本臨床救急医学会共催で開催している日本 AED 財団 School フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響で延期されてたものを含め、年 2 回の開催となった。

また、令和 4 年 4 月閣議決定された「第 3 次 学校安全の推進に関する計画」に大学教員養成課程における全学生への BLS 講習の必須化が盛り込まれた。文部科学省から各教員養成系大学に BLS 講習の実施状況についてアンケート調査が実施される予定であり、当委員会から文部科学省に具体的な調査内容（質問事項）案を提出した。

＜令和 4 年度の主な取り組み＞

### 1. 日本 AED 財団 School 部会との連携

- 当委員会は学術的な役割、School 部会はコンテンツ制作やイベント開催など実務的な役割で連携
- ・令和 4 年 10 月 14 日 日本 AED 財団 第 4 回 School フォーラム（千葉市教育委員会共催）
  - ・令和 5 年 2 月 4 日 日本 AED 財団 第 5 回 School フォーラム（川崎市教育委員会共催）
  - ・救命サポーターアプリ teamASUKA の製作への協力（ASUKA モデル 10 周年企画）
  - ・うんこ救命ドリルアプリ、うんこ謎かけ動画の製作への協力

- 2. 文部科学省への、教員養成課程における BLS 講習必須化に伴うアンケート調査内容の提案
- 3. 全国学校安全教育研究会との連携継続

【活動計画】 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

令和 4 年度（2022 年度）で活動 16 年目を迎える。

引き続き学習指導要領の改定を見据えた「学校での救命教育導入の更なる促進」を目標にする。そのために、

- 1. G2020 に準拠した「心肺蘇生の指導方法、指導内容に関するコンセンサス」の改訂
- 2. 教員養成課程への BLS 教育の導入促進
- 3. 学校での児童・生徒に対する BLS 教育を実施可能とする教員への支援
- 4. 学校安全・危機管理マニュアルへの BLS 教育導入促進

を具体的目標として、日本 AED 財団 School 部会との緊密に連携により、教育現場と医療側の連携、教員養成課程や教員に対する BLS に関する授業方法の伝達を検討していく。